

議会熊本県視察研修

境町議会では、去る10月23日から25日までの3日間、議会全体研修として、今年4月16日に発生した熊本地震の被災地である、熊本市、南阿蘇村、益城町の被害の現状と防災対策について、視察研修をしてきました。

まず、熊本県庁で、熊本県危機管理防災企画監から、今回の熊本地震への対応について説明を受けました。

熊本県では、今回の地震対応の教訓の中で、良好だった点として危機管理の経験者が異動をしても、災害時には自動的に復帰する制度があったおかげで、指揮系統が確立し役割分担が明確であったことを上げていました。

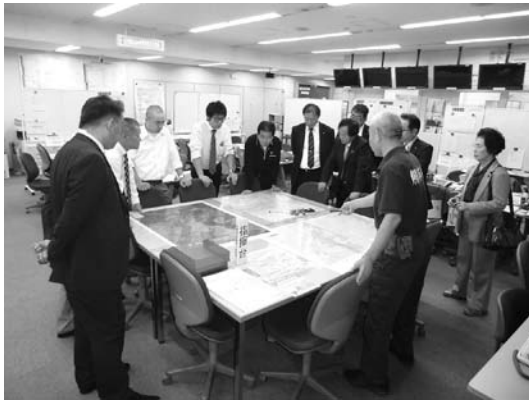
改善する点として、罹災証明等の発行などの、災害発生後における行政事務訓練が必要であることを上げていました。

日頃から避難意識を持つことが必要であり、平常時から訓練しておくことの大切さを学びました。

次に、地震による死者を多く出した、南阿蘇村と益城町の被害状況を視察しましたが、建物、道路

を問わず町全体が大きな被害を受け、自らの資力では住居が確保できないほどの被害であり、また、大きな余震があれば倒壊の恐れもあるため、安心できない状況であり、その光景は自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされました。

議会としましても、この度の研修で学んだことを活かして、町執行部及び住民の方々と協力して、今後、いつ起こるかわからない災害に備える覚悟を新たにしました次第でございます。



熊本県危機管理防災企画監からの説明



石垣の一部が崩れた熊本城櫓



4月16日未明崩落した阿蘇大橋



益城町倒壊した家々